第5次子ども読書活動推進計画（案）に対するパブリック・コメント提出意見

No.	意見提言の内容		意見提言に対する町の考え方
1	P6-3行目 (2)学校における読書活動の推進 ●小学生時の取組と成果 小学校の図書室の貸出冊数が減少した	船岡小学校ではすでに放課後は図書室が利用できず、一応昼休みは利用できるという建前になってはいるものの時間が短すぎ、事実上本を借りることが困難になっていることが問題です。	船岡小学校は、月～金まで学校司書が常勤しており、放課後に利用したい児童は貸出が可能です。また、船岡小学校に限らず、昼休みは給食の片付けや清掃時間の都合で利用できる時間がクラスで違う場合があるようです。また学年により利用できる曜日が分けられている学校もあります。 学校図書館については、できるだけ閉館していることがないように学校司書のシフトを見直すとともに、司書教諭を含む教職員や図書委員会委員、ボランティア等の皆さんで協力し対応できるようにしていきたいと考えています。
2	P7-13行目 (3)行政における読書活動の推進 ●図書館の取組と成果 町の財政事情を考えると司書の全校配置は現状は難しい	体育館や観光などに使う予算があるのであれば教育を優先したほうが子育て世代からの移住が期待でき、結果的に税収が増えて町の財政が豊かになると考えられます。	町は子育て世代を呼び込むため、総合体育館や新図書館を建設し、子育て環境を整えるとともに、観光にも力を入れ賑わいを創出するために様々な施策を展開しています。 しかし、町の財政は社会保障費や人件費の増加、さらに国が進めるデジタル基盤改革による電算システムの更新費用、物価高騰や労務単価の上昇による物件費の増加など、町単独ではコントロールできない費用が年々増加しており、厳しい財政状況が続く見込みであることをご理解いただきたいと思います。
3	目次、P2 3 計画の対象等	「3計画の対象等」は「3計画の対象・期間」とし、計画期間がどこに記載されているのかをはっきりと明示すべきと思われる。	ご意見のとおり、「3計画の対象・期間」に修正いたします。 計画期間は、(2)計画の期間に令和8年度を初年度とし、令和12年度を目標年度とする5年間の計画であることを明示しています。
4	P1-16行目 1　計画策定の背景	「委員会を立ち上げ」は「委員会を設置し」が正しい。	ご意見のとおり、「委員会を設置し」に修正いたします。

No.	意見提言の内容		意見提言に対する町の考え方
5	P2 3 計画の対象等	(1)計画の対象:「15歳まで」としているが、法、宮城県、他市町村では「18歳」であり18歳までを対象とすべきである。	子ども読書活動推進計画の対象年齢は、市町村の判断に委ねられており、近隣市町も対象年齢を「15歳まで」としている自治体がほとんどです。本町も第1次子ども読書活動推進計画から15歳までを対象としており、今後も中学生までを対象に計画を推進していきたいと考えております。
6	P8以降	表の項目中、年次が左右逆である。左から順番に。 「R7,R6,R5,R4,R3」ではなく「R3,R4,R5,R6,R7」。図書館の本の並びといっしょ。	第4次目標値とR7の実績値が比較できるような並びで作成しております。
7	P9-13行目 5 今後の課題(1)広報活動の充実と読書環境の整備	今後の取組が記述されている。	ご意見のとおり、P9-16行目「環境づくりに努めていきます」を「環境づくりが一層求められています」に修正いたします。
8	P9-17行目以降 5 今後の課題 (2)新図書館の関わる対応	「(2)新図書館に関わる対応」の記述は「今後の課題」ではなく、今後の取り組みが記述されている。課題の項目なので課題を記述されたい。	ご意見のとおり、P9-23行目「周知を図っていきます」を「更に周知を図っていくことが必要です」に修正いたします。
9	P9	「5 今後の課題」:現在の課題ではなく今後の課題なのか。P23で記述されているような第4次計画についての評価検証が不十分である。要因はコロナだけなのか。	第4次計画の振り返りにより、現在の課題が明確になり、今後、取り組むべき課題としてまとめています。 関係機関や団体による情報交換などによる評価・検証が不十分との指摘については、要因は新型コロナウイルス感染症だけではないと考えますが、人が集まり、話し合うことを制限された期間は計画を推進する上で、難しい面が多かったと考えています。

No.	意見提言の内容		意見提言に対する町の考え方
10	P10-23行目以降 1　計画策定の目的	基本理念に関する記述を思われるが、文章が長すぎるため判読不能である。わかりやすい文章でお願いしたい。	基本理念「読書でひらく　輝く子どもの未来」は、本を開くことから始まり、読書の力で、自ら、未来を切り拓いて欲しいという、家庭や地域、各関係機関で見守る大人の願いが込められており、わかりやすい文章になっていると考えます。
11	P16-10行目以降 ③小中学校における読書活動の推進 (2)取組	「(2)取組」の項であるが、各項目とも役割が記述されており取組が記述されていない。	取組については、P17-14行目以降の表で記述する形式としています。
12	P22以降	表についてはP8と同様に項目の年次が左右逆である。各目標値の設定の考え方を明示して欲しい。どうしてこの数値にしたのか。	表の年次の並びは、P8の考え方と同じです。各目標値については、本町の第3次計画・第4次計画の目標値及び実績値、宮城県、仙台市、県内市町の目標値を参考に、子ども読書活動推進会議の中で検討し決定しました。
13	全体	本計画は第4次計画とほぼ同一の内容である。P2で新図書館との関連を位置付けていながら新図書館として積極的に子ども読書活動施策を展開していく内容が盛り込まれていないのは残念である。町長の言葉では新図書館は従来の図書館とはちがった役割を担うこととなり、今後は「本を借りたり勉強する場所」だけではないと言っている。そのような施策も盛り込んだ計画としていただきたい。	新図書館は、令和10年1月に開館を予定しており、今後開館スケジュールに合わせて、新図書館における具体的な運営方針やサービス内容を設定していくことになります。子ども読書活動推進計画もそのスケジュールに合わせて新たな施策を盛り込み、見直しを行う予定です。